

第1回周南市まちづくり総合計画審議会 会議録

- 1 開催日時 平成16年7月27日(火) 開 会：14時00分
閉 会：16時00分
- 2 開催場所 周南市徳山保健センター 1階 健診ホール
- 3 出席委員 (1) 谷野正昭 (15) 大賀秀樹 (29) 片川久美子
(2) 田村美由紀 (16) 真島加洋子 (30) 小松昭人
(3) 磯崎一喜 (17) 歳光時正 (31) 渡辺明彦
(4) 内山洋子 (18) 梅田孝文 (32) 金本暢子
(5) 橋本紫 (19) 福田隆文 (33) 天野徹
(6) 小林三津子 (20) 松原香織 (34) 中谷孝久
(7) 金子玲子 (21) 瀬来英人 (35) 稲葉和也
(8) 山本享明 (22) 山上雅弘 (36) 山本充二
(9) 石松重孝 (23) 高杉憲 (37) 武内謙治
(10) 藤本敏路 (24) 毒島大介
(11) 和田和年 (25) 戸倉多香子
(12) 林禮子 (26) 田中義啓
(13) 安永芳江 (27) 吉岡治
(14) 藤井里美 (28) 三浦博
- 4 欠席委員 (1) 宮本治郎 (2) 船崎美智子 (3) 徳原秀子
- 5 出席職員 市 長 河村和登
企画財政部長 山下敏彦
企画財政部次長 磯部恒明
企画調整課長 宮川八州志
企画調整担当主幹 藤井義則
同担当 野満寛、山本英樹、坂本俊彦、
寺岡裕信、三川新二郎
地域政策担当主幹 増本俊彦
同担当 原田義司、行富広康
海面埋立事業推進室長 中村孝
新南陽総合支所地域振興課 石川求久
熊毛総合支所地域振興課 久行竜二
鹿野総合支所地域振興課 小田和則
- 6 会議経過 別紙のとおり

【会 議 経 過】

1 開会

2 委嘱状の交付

河村市長が代表して毒島委員に委嘱状を交付

3 市長あいさつ

4 委員紹介

名簿と座席表の配布による

5 会長・副会長の選出

委員の互選により、会長に天野委員、副会長に和田委員を選出

6 周南市まちづくり総合計画案の諮問

河村市長が天野会長に諮問書を交付

河村市長退席

7 会議の内容

(1)周南市まちづくり総合計画の概略説明

事務局：周南市まちづくり総合計画の概要（策定の趣旨、体系、これまでの経緯とこれからのスケジュール）について説明。

会 長：ただいまの説明について、質疑等ありませんか。

委 員：質疑なし。

事務局：構成図をもとに総合計画案について説明。

会 長：ただいまの説明について、質疑等ありませんか。

委 員：質疑なし。

(2)周南市まちづくり総合計画案の審議

会 長：今回はまず、基本構想について議論していきたい。

事前に意見票も数名の委員から事前に出されているようなので、それぞれご説明をお願いしたい。では、まず私のほうから・・・。

・基本構想の章建てを整理してはどうかと思う。第2章に基本理念が3つ掲げられているが、基本構想の基本理念というよりは、構想を実現していくための理念という感じがするので、目標の後ろに、また、土地利用方針も手段であるので、主要プロジェクトと同様、目標の後ろに置いてはどうか。

（意見票での提案）

第1章 計画策定の背景

第2章 将来の都市像と目標人口

第3章 まちづくりの目標と施策の大綱

第4章 土地利用方針と主要プロジェクト

第5章 計画推進にあたっての基本理念（現第7章の内容を含む）

・感覚の問題かもしれないが、今までのものを生かしながら新しいことをやる中で、一体感というのは、結果として生まれてくるものであって、一体感のあるまちをつくろうということではないのではないかと思う。

・構想第5章の全体として、一般的に日本全体の状況がこうで、だから周南市ではこうだ、というようなワンステップが欠けているのではないか。内容が悪いということではないが、一般的な話が周南市に本当にあてはまるのかどうか検証したうえでの記述でないと、なかなか理解が得られないのではないか。

委員：・周南市に転勤できて一年になるが、周南市をもっと元気なまちにしたいと思い、この場に参加している。

・計画を作って終わりでは意味がない。企業で考えたとき、計画が実現できなければ、その企業は衰退し倒産する。実現するためにどうしたらいいのか、ということ念頭に考えるべきである。そのために、これまでの計画の実施がどうだったのかというような現状認識が必要と考え、意見票で意見というより質問をしたところである。

・一番大事にしていること、こだわっていることは何か、何としても実現したいと強く考えている部分のしぼりこみ、整理ができないものかと感じた。今年度の市長の施政方針を見ると、「人が元気に、特に子どもが元気に」ということが冒頭に掲げられているが、それにこだわってやっていくのであれば、まちづくり、計画づくりをどう考えたらいいのか、という発想もあるのではないか。

会長：委員の皆さん、あるいは計画を読まれる市民の皆さんの現状認識というものが必ずしも共通ではないということで、議論をして共通認識をもつ必要がある。そのために事務局に資料を用意してもらっているので、今後の審議の中で、この資料を生かしながら進めていきたい。

委員：・総合計画案の構造は、仕方ないのかもしれないが、新市建設計画をそのまま踏襲した形になっている。周南市が発足した今、構造をもう少し改良する必要があるのではないか。やや論理性を欠くような項目立てになっているような気がする。一例として、時代潮流と市民アンケートからいきなり課題になっているが、果たしてそれで課題というものができるのか。もっと現実を直視する必要がある。

・将来の都市像で、書いてあることが非常に情緒的である。全国どこの市でも同じように「明るい未来」が言われているが、これで周南市の特徴ある本当の意味の将来が計画できるのか。もう少し地についた計画にしたい。

・産業の振興において、周南市はコンビナートのまちであるということは間違いはないが、その他のことが欠けている。抜けのないような計画にすべき。

委員：一市民として、一主婦として、一母親として、感じていることを書いてみた。地域においてこういうことが課題となっており、計画に追加していただきたい。

(意見票の項目)

- ・義務教育 資質及び学習指導力の高い教職員の育成
- ・生涯学習 学校図書館の地域開放
- ・地域情報化 災害時の連絡体制の充実
- ・観光 利用されていない観光資源の再利用・再活用

会長：ここで先に、今後の進め方の説明を事務局をお願いしたい。それを念頭にその後、進めた方がよいと思われるので。

事務局：分野ごとに部会を設置し、審議を進めていくことについて説明。

会長：事務局から説明があったように、3つの部会で進めてよいでしょうか。

委員：異議なし。

会長：そういうことで、個別の内容は部会で審議されるということを前提に、今日は全体のことについて意見をいただきたい。名称や全体の構成など、今日決めてしまうということではないが、感想や意見があればうかがいたい。

- ・今日意見票で出していただいた内容については、部会の中でそれをどう取り入れていくかということについて議論いただき、現状認識についても部会の中でそれぞれ関連するところをまとめていただくということになる。

委員：・序論で、周南市が合併までこぎつけた経過をもう少し書き込めないか。「昭和60年代から少子高齢化に早くから注目し、合併を模索し議論し続け、全国に先がけて県内トップをきって合併をした。ただし、合併論議があったので思い切った施策ができなかったことは否めない。みんなが待っていた合併がようやく実現をしたので、新しいまちづくりへの期待は大きい」などといったような記述ができないか。

- ・時代の潮流のうち、1～5まではこれまでも言い尽くされており、古いと感じる。時代の潮流をここまで書く必要はなく、もっと現状分析が必要ではないか。現状分析が市民アンケートだけでは抽象的すぎるので、人口統計や昼間の人口などのデータを文章ではなく、わかりやすく数字でいれるべき。

- ・合併前の2市2町の特徴と歴史を参考に入れたらどうか。新しいまちをつくる時に、これまでの歴史も大切にしたいという思いもあると思う。

- ・全体的に力強さがほしい。合併後間もないこの10年間というのは、将来のまちづくりにたいへん重要な時期であり、「力強く柔軟に、新しいまち・周南市を確立する」ということが大切である。

- ・人口や都市像、構成については、部会で話し合ったことを持ち寄る形でもよいので、全体会でもう少し議論したい。

・都市像を実現するための「行政像」をあわせて表現している例（大和市の例）もあるようなので、参考にしてはどうか。

会 長： 周南市の確立というのは、周南市の個性の確立ということですか。皆さんが共通して感じておられるのは、周南市らしさが全体から感じられないということではないか。

・ご提案のあった進行については、各部会の個別の議論の上に立って、もう一度全体で議論し直すことにしたい。今日はまず、いろんな意見を出しつくして、それを踏まえて、部会で担当分野と平行して全体構成などの議論も進めていきたい。

委 員： まだ、旧徳山市、旧新南陽市などの記述がまだまだ多いというのが気になる。最初の計画だから地域を北部とか、西部とか新しい呼び方も考えるべきではないか。10年間そのイメージを引きずるのはいかがなものかと思う。

会 長： ここで事務局に質問だが、ここに「地域審議会からの答申一覧」という資料が配られているが、これはすでに計画案に反映されているということか。

事務局： 7月1日に答申をいただいた後に、庁内の策定委員会でその反映について検討したものを本日お示ししている。

会 長： 過去の経緯ということで、市としては議論をして現在の案になっているということではいいか。

事務局： そうです。

委 員： ・現状分析が欠けているという意見があったが、うらにあるのか。背景として案の策定の段階で持っているのか、事務局に質問したい。

・時代の潮流あるいは展望については、共通の理解がある程度必要であり、この部分はもう少し議論が必要ではないか。

・実現性については、企業の場合には重要になってくるが、まちづくり総合計画を作るという点では、大方の共通認識というものが前提にあり、その中でどのような形で実現していくかについては行政が携わることになる。ここではその共通の基盤を示しているのだという認識が必要ではないか。その点についての共通理解がもう少し必要である。

・周南市の確立は私も必要と考える。旧市町の表現が多いのは、場所を特定する上で共通理解がしやすいということで使ってあると思われるが、周南市全体として全市的な観点から計画を立てていくことが必要。その場合に、周南市はいくつかの地域から成り立っているから、それぞれの地域に住んでいる方々がどのような形でこれに対応していくのが重要であり、そこはもう少し議論が必要。

・表現方法については、総合計画というのは、どうしても情緒的な表現にならざるを得ない部分もあるので、それはある程度許していかないといけないのではないか。

事務局：・現状分析については、基本計画の中でそれぞれの分野で行っている。また、時代の潮流については、国や県の状況も把握することも大切であることから記述しているところである。

・実現性については、基本構想では方向性や考え方を、基本計画では施策を述べており、実施計画を立てる中で、その実現を図っていくことになる。

委員：・基本構想において、目標人口が唐突に出てくる印象がある。人口についてしっかりデータを出すべきではないか。

・どういう政策でもって17万人を達成するのか。

事務局： 目標人口の17万人については、それぞれの旧市町の総合計画での目標人口の合計16万7千人に合併効果3千人をプラスしたものである。庁内の策定委員会においても、日本全体で人口が減っていくことが予想される中で、17万人の達成は難しいのではないか、との議論もあったが、新市建設計画の整合性を図るということも必要ではないかということで、設定をしている。

また、周南市の昼間人口は約16万3千人であり、定住人口ではないが、それを踏まえてのまちづくりも必要ということもある。

委員 ・旧市町でも目標は達成できなかったこともあり、それをあわせればますます誤差が大きくなるのではないか。いずれにしろ、日本全体、山口県全体が人口が減少していく中で、周南だけが、というのは難しいのではないか。人口が減少していく中でまちづくりを進めていかなければならないという基本姿勢が必要ではないかと思う。

・人口に関しては、年齢構成がどういう変化をしていくのか、高齢化ということにつながってくると思うが、そういうことに配慮しなければならない。予算をどのように効率的に配分していくか、年齢構成に応じてどのようにまちづくりを進めていくのかということをもっと検討する必要があるのではないか。

委員： あらゆる分野の方々からこの審議会が構成されているが、医療の分野に専門的な委員の追加を提案したい。

会長： 先程の人口の件について、17万人に決めてしまわず幅を持たせて表現することができないか。計画の中で何か想定が必要であるが、委員さんから指摘があったように、人口が増えていくということだけを前提とするのもいいとはいえない。ある程度幅を持たせたものを想定した上で、計画を作るという方法もあるのではないか。

事務局： それも一つの方法であると思う。それも含めて議論いただければ。

委員： ・人口問題研究所の推計は、通常、過大推計になる。そのため差は見た目以上に大きくなるはずである。
・昼間人口をより重要視し、それなりの都市の格を考えるとということで、目標人口に幅を持たせるというのも一応可能だろうとは思う。
・年齢構成が非常に高齢化しており、このあたりの手当てがより重要になる。単に、目標人口だけで議論するのではなく、中身で考えて方向性を定めていけないといけない。

(3)部会長の選出及び今後の開催日程について
部会ごとにわかれて協議

会長： 部会で決まった内容について事務局から報告をしてください。

事務局： ・部会 部会長は天野委員に決定。
日程は、第1回 8月 5日(木) 10時から
第2回 8月11日(水) 10時から
第3回 8月19日(木) 14時から
第4回 8月26日(木) 14時から
第5回 9月 2日(木) 14時から
第6回 9月 9日(木) 14時から
・部会 部会長は中谷委員に決定。
日程は、第1回 8月 3日(火) 13時30分から
第2回 8月 9日(月) 13時30分から
第3回 8月19日(木) 10時から
第4回 8月31日(火) 13時30分から
第5回 9月 7日(火) 13時30分から
・部会 部会長は稲葉委員に決定。
日程は、第1回 8月 5日(木) 14時から
第2回 8月12日(木) 18時30分から
第3回 8月24日(火) 14時から
第4回 8月31日(火) 18時30分から

7 閉会

会長： 以上で本日の会議を終了します。ご協力ありがとうございました。

上記は会議の経過の要点を記載したもので相違ない。

平成16年8月11日

周南市まちづくり総合計画審議会

会長 天 野 徹